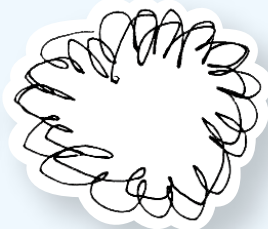


せきじゅうじて、
なんだろう？

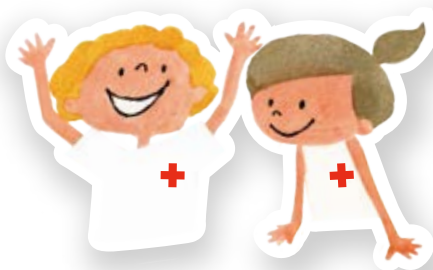


せきじゅうじ

赤十字のマーク

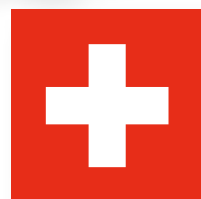


みんなの むね についている マークを 知っていますか？
これは、^{せきじゅうじ}赤十字のマークです。



せきじゅうじ

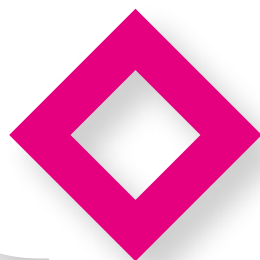
赤十字をつくったアンリー・デュナンが
生まれた「^うスイス」のこっきの ^{いろ}色を
はんたいにして つくられました。



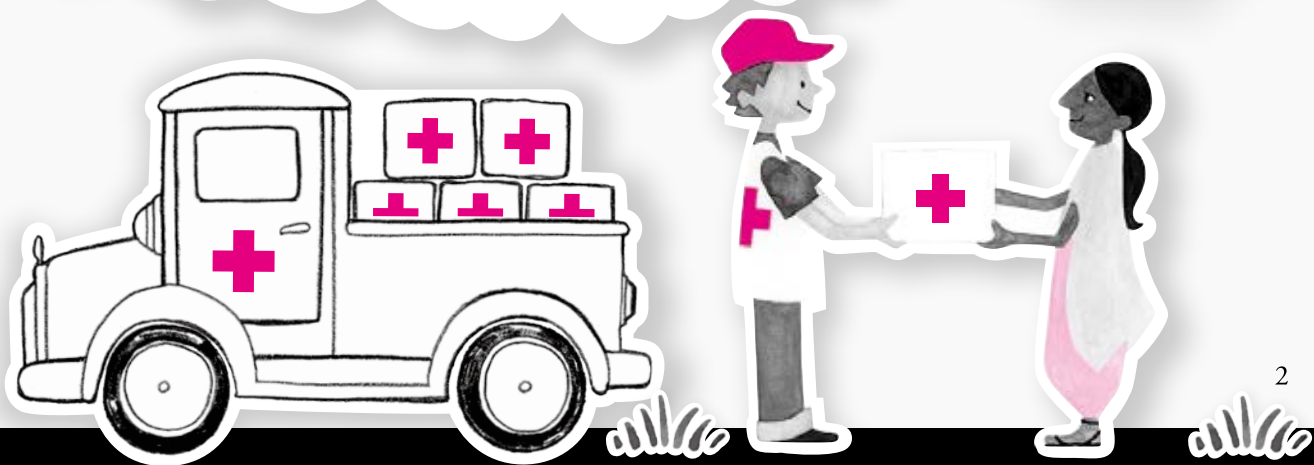
しかし、せかいには、いろいろなりゆうで、このマークを
つかえない^{くに}国もあります。そこで「^{せきしんげつ}赤新月マーク」が
つくられ、「^{せきじゅうじ}赤十字マーク」と^{おな}同じものとして
つかわれるようになりました。



さらに、2005^{ねん}年には「レッドクリスタルマーク」も
赤十字^{せき じゅう じ}のマークにくわわりました。



赤十字^{せき じゅう じ}のマークは、いのちをまもるための、大切な^{たい せつ}マークです。
せかいじゅうで、くるしんでいる人^{ひと}や、その人^{ひと}たちを
たすける人^{ひと}を、まもるために つかわれています。
そのため、このマークがついている びょういんや 人^{ひと}には、
せんそうちゅうでも ぜったいにこうげきしては
いけないことになっています。
このことは、「ジュネーブじょうやく」という、
せかいの やくそくで きめられています。



せき じゅう じ

ちち

赤十字の父 アンリー・デュナン

いま やく180年まえ スイスのジュネーブという町に、
デュナンという男の子が生まれました。

デュナンは とてもやさしい子でおさないときから
びょうきの人を元気づけたり ますしい人のお手つだいをしたりしました。



大人になった デュナンが
しごとで イタリアのソルフェリーノ
という町を 通りかかったとき、
そこには せんそうで きずついた たくさんの けが人が
手当てもされずにくるしんで いました。

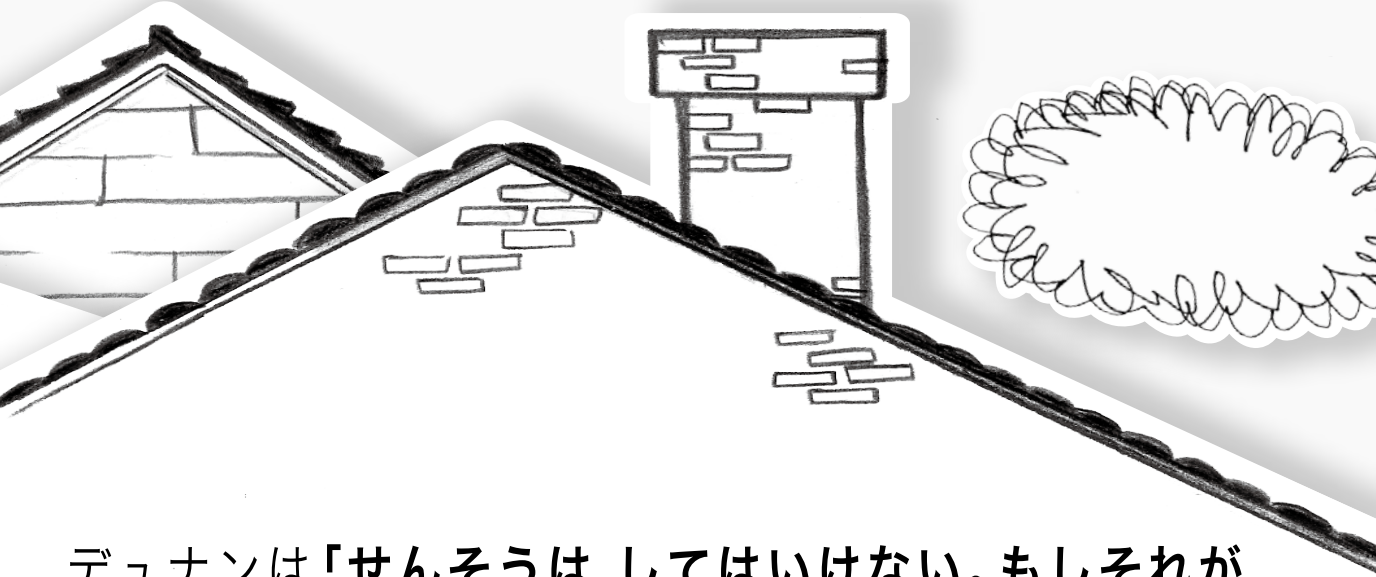
デュナンは かなしくて むねが はりさけそうになりました。
すぐに 町の人に よびかけて 手当てを はじめました。

「きずついた人は てきもみかたも ありません。
人間は みんな きょうだいです。」

デュナンは そういって 手当てを しました。



ふるさとに 帰った デュナンは なやみました。
デュナンの 頭から くるしみながら しんでいった、
たくさんの人たちの すがたが はなれなかったからです。



デュナンは「せんそうは してはいけない。もしそれが
できないのなら けがをした人は みんなたすけましょう。」
と、よびかけました。

デュナンの よびかけに たくさんの^{ひと}人たちが
さんせいしました。そして 16 の^{くに}国のだいひょうの
^{ひと}人たちが はなしあって^{せき じゅう じ}赤十字をつくりました。

デュナンはこのかいぎを しずかに
^み見まもっていましたが かいぎが
おわったとき デュナンの目には
なみだが あふれて いました。



その^{あと}後 デュナンは
^{せき じゅう じ}赤十字のために いっしょうけんめい
はたらいて 79さいのときに
ノーベルへ いわしょうをもらいました。
デュナンはなくなるまで ^{ひと}ひとびとの
しあわせを ^{かんが}考え
しずかに しょうがいをとじました。



に ほん せき じゅう じ しゃ 日本赤十字社のおこりとかつどう

アンリー・デュナンがつくった赤十字は、
げんざい189の国ぐにで
かつどうしています。

に ほん せき じゅう じ ねん
日本の赤十字は1877年に

さ の つね たみ
佐野常民によってつくられました。

おお
大きなたたかいが に ほん
日本であったとき、



そのたたかいで けがをした人を、
てきでも みかたでも くべつなくたすけた ひとによって、
に ほん せき じゅう じ う
日本の赤十字は生まれたのです。



ねん ちか
130年近くたった げんざいでも、 に ほん せき じゅう じ しゃ
日本かくちで いのちをまもる かつどうを しています。

赤十字は

- ・ せんそうや ふんそうで けがをした人を たすけます
- ・ さいがいの ひがいにあった人を たすけます
- ・ びょうきで くるしんでいる人を たすけます
- ・ お年よりや しょうがいの ある人を たすけます

これらのかつどうは、^{くに}国や ^{せい}せいべつ、
 しゅうきょうなどによって さべつすることなく
 おこなわれています。これらは ボランティアの
 きょうりよくで おこなわれています。みなさんのような
^{せい}青少年も、^{せき}赤十字の大切な ^{なか}なかまです。



みなさんが、いのちと ^{けん}けんこうを大切にし、
 お友だちと ^{なか}なかよくするかつどうを、
 「^{せい}青少年^{せき}赤十字」といいます。



せいしょうねん せきじゅうじ 青少年赤十字

○たんじょう

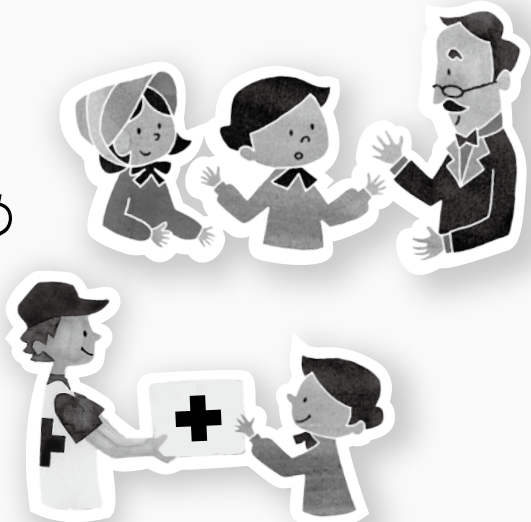
いまから 90年^{ねん}くらい前^{まえ}に ヨーロッパで
大きなせんそう^{おお}があり、
たくさんの子ども^こたちが いえやかぞく^{いえ}を うしないました。

そんなとき、アメリカや
オーストラリア^この子どもたちが
ヨーロッパ^この子どもたちをなぐさめ
はげまそうと、
学校^{がっこう}の先生^{せんせい}とそうだんして

作文^{さくぶん}や絵^え、がくようひん^{かね}や
お金^{かね}をあつめ、赤十字社^{せきじゅうじ}に もっていきました。

そしてそれらが 赤十字社^{せきじゅうじ}から
ヨーロッパ^この子どもたちにおくられました。
子どもたちは、とてもゆうきづけられました。

このことが きっかけとなり 自分^{じぶん}から すすんでお友達^{とも}だちや
そのほか^{ひと}の人のために よいおこないができるようにと、
青少年赤十字^{せいしょうねん せきじゅうじ}が 生ま^うれたのです。



○かつどう

だれもがもっているやさしい^き気持ちをお友だちや
ほかの人^{ひと}たちにあげることです。やさしい^き気持ちを
こうどうにうつすことが大切です。

自分で^{じぶん}気がついたことやよいと思^{おも}ったことはどんどん
してみましょう。先生^{せんせい}やおうちの人^{ひと}に言^いわれたから
するのではなく、自分で^{じぶん}考^{かんが}えてするのが大切^{たいせつ}なことです。

たとえば、こんなこと

がっこう 学校で

きづき 校^{こう}ていにボールがおちている。

かんがえ どうしてつかいっぱなしにするんだろう。
ボールがかわいそうだな。
なくなってしまうかもしれない。

じっこう 実行する もとのところにもどしておく。



がっこう 学校のそとで

きづき おうだんほどうをわたれないでこまっている
おじいちゃんがいました。
あっ、こまっている人^{ひと}がいる。

かんがえ どうしたらむこうがわに
わたれるかな。

じっこう 実行する ボタンをおしてあげる。
いっしょにわたってあげる。



○もくひょう

青少年赤十字せいしょうねんせきじゅうじのなかまは、わたしたちだけではなく、ほかの小学校や中学校、高校などにたくさんいます。わたしたちは、いつも元気で学校のお友だちとなかよくするだけでなく、せかい中のお友だちともなかよくし毎日、楽しい生活ができるようよいおこないをしていきましょう。

青少年赤十字では、わたしたちが赤十字のことをよく知って、みづかなところからたすけあいや思いやりの心をひろげ、人のためと自分のためにどりよくできるようじっせんもくひょうというものをきめています。

1 けんこう・あんぜん

自分やほかの人のいのちとけんこうを大切にしあんぜんな生活をこころがけます。
学校では、しゅうだん登下校、手あらいうがい・きゅうしょくのあとのはみがきなどをすすめます。
きゅうしょくや朝ごはん・夕ごはんをすききらいなくなんでも食べましょう。



2 ほうし

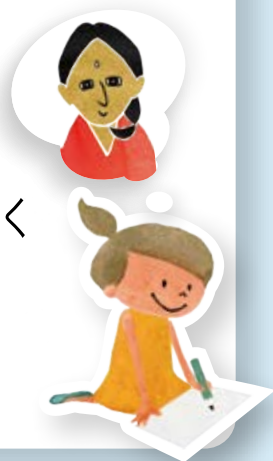
かていで、学校で、町の中でたすけあいをすすめます。ぼきん、しょうずみ切手あつめ、しせつほうもんなどをおこないます。
こまっている人を見たらいつでも親切にし、たすけてあげましょう。



3 こくさいりかい・しんぜん

せかいのお友^{とも}だちとなかよくします。
こうりゅうしゅうかいへのさんか、しんぜんアルバムづくり
などをおこないます。このようなことに 気^きをつけて
毎日^{まい にち}をおく^{とも}っていくと、たくさん友^{とも}だちができ、
おうちや学校^{がっこう}、町^{まち}の中が とても明^{あか}るくなり、
自分^{じ ぶん}だけでなく ほかのお友^{とも}だちも みんな毎日^{まい にち}たのしく
よい気^きもちで すごすことが できるようになります。

さあ、まず自分^{じ ぶん}からやってみましょう。



もっと知りたいみなさんのために

赤十字^{せきじゅうじ}や 青少年赤十字^{せいしょうねんせきじゅうじ}について、もっと くわしく知りたいみなさんは、
つぎのしりょうを先生^{せんせい}といっしょによんでみましょう。

赤十字^{せきじゅうじ}のマークについて

・ 青少年赤十字ハンドブック (小学生用) : 31 ページ

ジュネーブじょうやくと赤十字^{せきじゅうじ}のきまりについて

・ 青少年赤十字ハンドブック (小学生用) : 32～34 ページ

アンリー・デュナンについて

・ 青少年赤十字ハンドブック (小学生用) : 26～30 ページ

・ 赤十字の父 アンリー・デュナン

日本の赤十字^{せきじゅうじ}について

・ 青少年赤十字ハンドブック (小学生用) : 37～41 ページ

せかいの赤十字^{せきじゅうじ}について

・ 青少年赤十字ハンドブック (小学生用) : 35～36 ページ

青少年赤十字^{せいしょうねんせきじゅうじ}について

・ 青少年赤十字ハンドブック (小学生用) : 4～11 ページ, 18～25 ページ

ボランティアについて

・ 青少年赤十字ハンドブック (小学生用) : 12～17 ページ



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

